

病害虫防除所情報第2号

令和6年 6月 7日
山梨県病害虫防除所

【オオタバコガの誘殺状況と防除対策】

オオタバコガは、幼虫がスイートコーン、果菜類（ナス、トマトなど）、野菜類（キャベツなど）、花き類（キクなど）の蕾、花、茎葉、果実などを食害するチョウ目の害虫である。

[発生の状況と今後の予想]

- (1) 平坦地の夏秋ナスほ場（甲府市、笛吹市）および高冷地のスイートコーンほ場（鳴沢村）におけるフェロモントラップのオオタバコガ成虫誘殺数は、平年および調査年の平均値より多い(図1)。
- (2) 暖冬や春の高温傾向により越冬世代が多くなり、越冬世代の誘殺ピークが大きくなったと考えられる。次世代幼虫の発生も多くなるおそれがあり、防除にあたって注意が必要である。
- (3) 気象庁の1か月予報（令和6年6月6日発表）によると、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込みである。

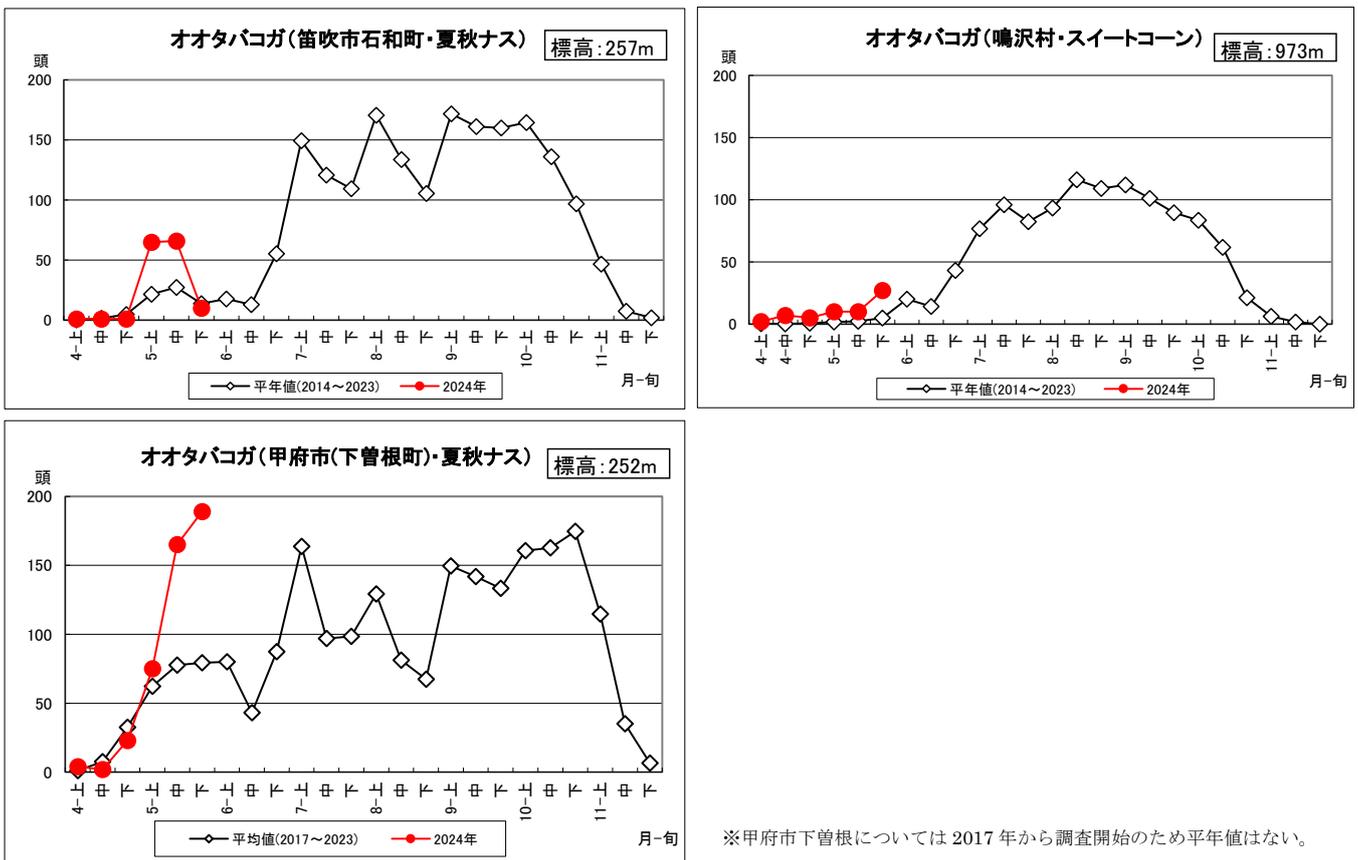


図1 フェロモントラップによるオオタバコガの誘殺状況

[防除対策]

○卵から孵化した幼虫は作物の内部に食入し、農薬がかかりにくくなるため、食害痕や虫ふんを目安に幼虫の早期発見に努め、若齢幼虫のうちに薬剤散布を行う。薬剤については表1を参照する。同一系統の農薬を連用すると、薬剤抵抗性が発達するおそれがあるため、異なる系統によるローテーション散布を行う。

- 施設栽培では、開口部に防虫ネット（目合い4mm以下）等を張り、成虫の侵入を防止する。
- 被害部位（果実、花、蕾、新芽等）は見つけ次第取り除く。被害果や、摘心・摘花した脇芽や花蕾等は、卵が産みつけられたり、幼虫が食入している場合があるため、発生源とならないよう、ほ場から持ち出し適切に処分する。
- 病虫害防除所ホームページのフェロモントラップ調査結果や、幼虫の写真を参考に、発生状況を確認し、適期防除に努める。
- ・オオタバコガフェロモントラップ調査結果
<http://www.pref.yamanashi.jp/byogaichu/00035185449.html>
- ・オオタバコガ写真
http://www.pref.yamanashi.jp/byogaichu/byogaichu_kaisetu/yasai_kaki/zenpan_ootabakoga.html

表1 オオタバコガに登録がある主な農薬

系統 (RACコード)	農薬名	作物名				
		ナス	トマト	キュウリ	スイート コーン	キク
5	スピノエース顆粒水和剤	○	○			○
5	ディアナSC	○	○		○※1	○※2
6	アニキ乳剤	○	○		◎※1	○
6	アフーム乳剤	○	○		◎※1	○※3
11A	デルフィン顆粒水和剤	○※4	○※4	○※4	◎※5	○
11A	エスマルクDF	○※4	○※4	○※4		○
13	コテツフロアブル	○	○		◎※5	○
15	マッチ乳剤	○	○			
15	カスケード乳剤	○	○		○※1	
18	マトリックフロアブル	○	○			
18	ファルコンフロアブル	○	○			
5・18	ファルコンエースフロアブル					○
18	ロムダンフロアブル					○
22A	トルネードエースDF	○	○			○
22B	アクセルフロアブル	○	○			○
28	プレバソフロアブル5	○	○		○※1	
28	フェニックス顆粒水和剤	○	○		◎※5	○
28	ベネビアOD		○		○※1	
28	ヨーバルフロアブル	○	○		○※1	○※3
30	グレーシア乳剤	○	○			○
UN	プレオフロアブル	○	○		○※1	○※3

- ※1 「未成熟とうもろこし」での登録、 ※2 「花き類・観葉植物（りんどうを除く）」での登録
- ※3 「花き類・観葉植物」での登録、 ※4 「野菜類」での登録
- ※5 「とうもろこし」での登録
- ※ スイートコーンにおける「◎」はヤングコーンにも使用可能（「ヤングコーン」または「野菜類」で登録あり）であることを示す。
- ※ ラベルに記載されている倍率、使用回数、有効成分の総使用回数、注意事項等を守り、周辺作物や近隣への飛散防止に努める。